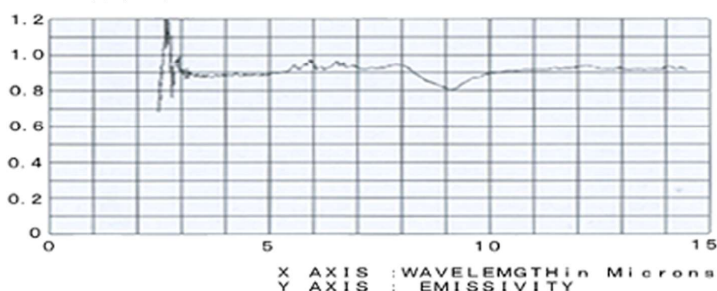


## 遠赤外線とは？

光（電磁波）は波長の長さによって分類されますが、遠赤外線は熱線とも言われるように、熱的作用の強い電磁波です。このうち約 0.8 ～ 4 マイクロメートルを近赤外線、4 ～ 1,000 マイクロメートルを遠赤外線といい、**遠赤外線でも特に 4 ～ 14 マイクロメートルの波長帯を『育成光線』と呼びます。**この『育成光線』がちょうど人間の持つ水などの分子の**振動に共鳴**作用を起し、この分子の活動を活発にするのです。遠赤外線を発生する身近なものと言えば、サウナ風呂・電気毛布・電気ジャー等があげられます。いずれも共通するのは 80 度以上の熱を加えることにより、遠赤外線が発生すると言う事です。ところが**ブラックシリカは 39.9 度以下で 98% の『育成光線』を発生する力を秘めている天然鉱石です。**

■ブラックシリカの遠赤外線放射測定結果  
(北海道立工業試験場による測定 平成7年9月11日)  
●分光放射率



ブラックシリカの分光放射率は図のように育成光線の波長帯においてほぼ **0.9 を保持**しており、優れた天然の育成光線放射材料といえます。分光放射率は 1 を最高とし、1 に近いほど強力となります。さらに育成光線と呼ばれる **4 ～ 14 マイクロメートル**の全域にわたってこのレベルを保持する材料はまれにしかありません。

## マイナスイオンとは？

マイナスイオンが豊富にあると、血液の浄化作用、細胞の賦活作用、抵抗力の増加、自律神経の調整作用などの効果があり、ブラックシリカは最も高いマイナスイオン効果を持つことがわかりました。

■ブラックシリカのマイナスイオン発生測定結果  
(遠赤外線応用研究会による測定)

試料	区分	測定値(個/cc)
ブラックシリカ	強振動	2.469
	弱振動	551